

昭和63年経済予測

北陸銀行金沢問屋町支店
支店長 久保孝夫

あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年のがわが国経済を振り返ってみますと、春先以降は景気も調整局面を脱し、内需拡大に支えられて順調に推移してまいりました。しかし反面、首都圏を中心とする地価の暴騰や世界的な株価大暴落、それに続く円高ドル安の急激な進行など大波乱のうちに幕を閉じました。政治的にも竹下新政権の発足や、米ソの新テラント政策の定着など世界的にもエポックメイキングな一年であったと言えます。

さて63年もすでに為替相場を中心に波乱含みのスタートを切っておりますが、株価の動向も含め景気予測はかなり不透明な状況にあります。政府見通しでは、実質経済成長率3.8%で「無理のない自然体で達成出来る数字」としており、引き続き内需拡大中心に景気は順調に上昇すると見ております。一方、民間調査機関や金融機関の見通しも、4.3%の国民経済研や4.0%の東海銀行を除けば若干の差はあれ、3.5%前後に収まっており、例年になくブレは少なくなっております。(ちなみに62年度の実績見通しは3.7%)

従ってどの見通しも描いているシナリオはほぼ同様で、上期中は内需拡大効果で緩やかな景気上昇が続き、下期に入って住宅建設の息切れや輸出鈍化などからややスローダウンするという見方が圧倒的となっております。

その他の国内経済主要需要項目の伸びは、個人消費支出は4.3%から3.5%、民間企業投資は11.3%から5.2%、民間住宅投資は2.1%から-0.7%とやや沈静化すると見られます。

注目される円レートは年度平均で123円(野村総研)から133円(東京銀行)の間と見ており110円台の新高値を予想している機関もあります。いずれにしましても、先進国間の国際協調体制も有効に機能しはじめており120円台後半の水準で推移するものと見られます。

また原油価格は生産の拡大傾向や世界的な需要減退を見越して、1バーレルあたり18.5ドルから19ドル程度と見られ、急激な上昇はないものと考えられます。

一方、金利を中心とする金融政策面では、引き続き緩和基調が維持され、世界的株価大暴落による対外的

配慮からも公定歩合は上げにくい情勢となっております。しかし反面マネーサプライは62年4～6月に二桁台に乗せたあとも期を追って上昇しており、昨年12月の日銀発表ではM₂+CDの伸び率は12.4%と第二次石油ショック直後の54年以來の高い水準となっております。また建設資材中心に国内卸売物価もやや上昇気味に推移しており、依然インフレ懸念は払拭されず、地価再高騰の兆や景気過熱感が表われると意外に早く金利反転の可能性も否定出来ないものです。いずれにしましても、国内事情と国際協調の狭間で金融政策の選択幅は小さく、当面は公定歩合も現状水準程度で推移する公算が強くなっています。

さて世界的に見ても、日米を中心とする先進国内の貿易不均衡が世界経済不安定の主因であり、アメリカの貿易財政赤字削減と並んで、日本の内需拡大策による対外不均衡の是正が世界的要請となっております。従って、中長期的には円高ドル安基調は避けられず、株価や為替相場の不安定な動きは当面続きますが、国内経済は積極財政と金融緩和に支えられ、内需中心に堅調に推移してゆくものと考えられます。

最後に、当問屋センターの皆様方におかれましては、本年も厳しい経営の舵取りが要請されるものと思えます。従来に増しての効率化経営の徹底や、情報装備力の強化などにより、この激動する時代を乗り切っていただき、更にご発展されることを心より祈念するものであります。

私ども金融機関におきましても、皆様方の様々なニーズにお答えすべく誠心誠意努力してゆく所存でございますので、よろしくご指導ご支援の程、お願い申し上げます。

<参考>

	61年度	62年度(見込)	63年度(予想)
実質成長率	2.6	3.7	3.5
民間住宅投資	10.9	16.8	2.2
民間設備投資	4.5	8.6	5.8
貿易収支(億ドル)	1,016	927	845
卸売物価	△10.0	△2.2	△0.4
消費者物価	0.0	0.3	0.7

金問屋センターニュース

1988.1

No.40

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585・発行者/小川甚次郎



年頭のごあいさつ

(編)金沢問屋センター

理事長 小川甚次郎

新年明けましておめでとうございます。

金沢問屋センターは昭和42年10月完成以来、関係者各位のご支援のもとに、幾多の経済環境の変化をのりこえて、昨年は20周年記念式典を無事終え、ここに新年を迎えることが出来ましたことは誠に喜びにたえません。

さて、内外の経済情勢をみますと、昨年来の異常な円高・ドル安の動きは、本年も好転を望めず、厳しい環境が予想されます。只、新しく竹下内閣が生まれ、財テクを中心とした大都市圏企業の増益、NTT株放出による税の自然増などによる来年度予算編成に、明るい兆しが見えることに期待したいと思えます。

私共、地域卸売業にとり、公共事業拡大に伴う消費の増加こそが肝要であり、内需振興を実現して国際経済に協力すること、更に地域の消費者ニーズを先取りし、お得意先である小売商の皆さんと協力を強めるために、各種情報の蒐集、伝達に最大限の努力を行うことが各自の発展に結び付き、ひいては、当金沢問屋センター充実を実現するものであると確信いたします。

完成20年は、最初の10年が基盤作り、次の10年が組織の安定に尽力いたしました。21年目の新しい年を迎え、今後の10年はまさに生死をかけた厳しい状態が予想されます。個々の企業努力はもとより、全組合員一丸となって更に一段の飛躍を期したいと存じますので、組合員各位の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

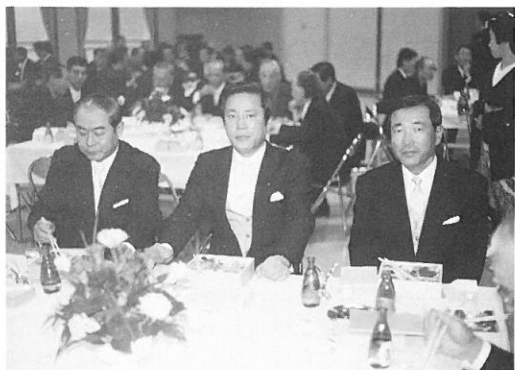
'88 新年互礼会

昨年に引き続き雪のないお正月を迎え、恒例、協同組合金沢問屋センターの新年互礼会は1月4日午後2時より金沢流通会館大ホールパルスにおいて来賓、組合員270名が参加して開かれた。

互礼会に先だち、問屋神社では組合員、商社代表者の参加の中で厳かに祈願祭が行われ、お祓いを受けた後、全員が企業の安泰と繁栄を祈り、玉串を奉奠し参拝を終えた。

国歌斉唱に引き続き、小川理事長から「完成21年目を迎えるが個々の企業努力はもとより、全組合員一丸となって更に一段の飛躍を期したい」と挨拶があった。

次いで中西県知事、江川市長、奥田、森両衆議院議員、嶋崎、沓掛両参議院議員、宮商工会議所会頭より祝辞を賜り、今井県議会議員の発声の下に乾杯を行い祝宴に移った。美妓のお酌で話がはずみ、宴たけなわの処、末岡市議会議員の音頭で万歳三唱し、本年も盛況の内に終了した。



年男大いに語る

ナイスショット



(株)川崎商店
社長 川崎 晃

今年は60年に一度の干支である戊辰の年に当るそうです。昭和の時代では昭和3年について二度目の戊辰でその60年前は明治元年でありました。有名な戊辰の役が興った年で、鳥羽伏見の戦いに始った戊辰戦争により徳川幕府は倒れ7月には江戸は「東京」と改められた年です。それから60年後の昭和3年、やはり世間は騒がしく、その前年の金融恐慌に始って3年後の満州事変が興る前ぶれの色々騒がしい事件が多かったと言います。

このように戊辰には何かが起こったり騒がしい年であるようです。そしてさらに60年後の今年、世界経済は不安定でアメリカ大統領選挙が決着する11月までは円高ドル安は限りなく進み、株価はしめっぽく内需拡

大も市場開放もままならず、くすぶり続けると経済学者の多くは言います。我々の繊維業界にとっても相変わらずの強いアゲインストの風が吹き荒れ、左右OBでしかも深い谷越え、大きな口を開けたバンカーがたくさん待ちうけており、ティショットを打つにも足がすくむ状態です。しかしここは一番決めた方向に精神統一をし、フェアウェイのど真中をめざしてナイスショットをするしかありません。危険な戊辰を飛躍の戊辰にするよう我々は「体力」「智力」「気力」をふりしぼり努力しなくてははいけないと思います。

今年48歳。「年男」。戊辰に遭遇した縁を、禍い転じて福とするような、内なる豊かさを実らせる働きをしたいと思います。

六然の精神で



(株)コシハラ
専務 越原 悠三

新年を心からお慶び申し上げます。

今年は近年にない暖かくて穏かな天候にめぐまれた良いお正月を迎えることが出来ました。私にとりまして四回目の辰年を迎え、家族一同平穏無事に新年を迎えられた喜びに感謝にたえない気持ちであります。大晦日から一日が明けただけで人は誰れもがすがすがしく新鮮な気持ちになり新なる希望と勇気が湧き、何か心に期そうとするものであります。2000年には私の五回目の年男を迎えることとなります。21世紀に向って遠大の計をと考えて回りを見渡してみた場合、中小の卸業者を取り囲む環境は決して良いものではありません。円高、貿易摩擦、消費税等の増税その他、諸々の問題が山積してきております。天候とは裏腹に大変厳しいものがあり、企業経営にあたるに心身ともに大きな負担となって重くのしかかってきております。この中で今後力強く生き残り発展してゆくための模索している

中で思いついたことが、安岡正篤著の「百朝集」に載せられている六然の言葉であります。

自然超然 処人譎然 有事斬然
無事澄然 得意澹然 失意泰然

これは自分を処するに何事にもとらわれず、人に接するに春風のようになごやかに、事にあたっては新鮮な意欲をもって行動し、事がなければ清澄な水のように静かに満を持す、得意の時も淡々としてたかぶらず、失意にあっても悠揚としていささかも迫ることがないという意味であります。人間、社会生活をしていく上で、たえず変化する事業や環境に適応してゆく心の葛藤とのつきあい方の一つの指針を示しているように思えます。今年からはこの六然の精神をもって昇龍のごとく、今までにも増して充実した年にしてゆければと年頭にあって感じた次第であります。

36歳の人間に



（株）土谷九兵衛商店
専務 土谷 守

あけましておめでとうございます。本年、年男で36歳になってしまいます。「あなたは若くて、スイングがきれいだから、ゴルフは上達する」と言われ続けて10数年。ゴルフの腕前は以前と同じ。ではゴルフの練習に費す時間を惜しんで、その分仕事や勉強をしたか？いやいやそれ程でもなし。その時、その時、一生懸命生きてきたことは確かですが、何をしてきたのかと聞かれても、返答のしようがありません。強いて言えば最近、白髪が目立ち始めたのが、唯一、年相応になった現われでしょうか。

一応社会人らしくなった24歳の年男の時から、早くも12年が過ぎ去ったこととなります。そして、私のイメージにある36歳の男性と、私自身との間には、相当ギャップがあるように感じてなりません。今さらながら、月日のたつことの速さと、そして年相応の人間にならねばいけないことを痛感している次第です。

最近の経済情勢を始め、世の中すべてが大きな変化に直面していると言われてます。勿論、その変化に対応することは経済人として当然必要ですが、私にと

っては、経営者として人間性を磨いていくことも重要なポイントであると感じています。

「おみこし経営」という言葉があります。やはり企業にとっては、社員にその立場、立場に応じて、会社というおみこしをかついでいってもらうことが必要だと思います。それには経営者として、「かつぎがいのある人」にならねばならないし、「かつぎがいのある環境づくり」を考えていかねばならないと思います。また、経営者が社員の意志に関係なく、決断して実行する時もあると思います。迅速で正しい判断と行動力を身につけることも必要です。

経営について考える時、まず自分自身の変革を一番やり残していることに気がつきます。本年、年頭に当り、年男であることを契機に、人間として、経営者として、大きく成長し、自己変革していくことに努力したいと思います。

さらなるご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願致します。

変化に対応して



玉田 商事（株）
常務 越田 文夫

新年明けましておめでとうございます。

私が金沢へ来てから満10年経ち、問屋団地がこの地に創業して20年、現会長玉田久直が我社を創業して40年と、今年は何かと節目の年と考えます。この節目の年に私は36歳の年男になった訳ですが、社会においても、会社においてもより一層責任ある立場に立たと自覚して居りますので、皆様には一段とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

さて本年は我社も漸くコンピューターが始動し、1ドル100円時代、新型間接税等色々な問題に対応すべくこの厳しい経済下で長期的な展望に立ち、経済基盤の確立を図って行きたいと思っております。

「変化こそ常道」は

時代の流れにタイミングを合せよう。

人の考え方が違って来た。

人の流れが変わって来た。

仕事のやり方が変わって来た。

需要者の態度が変わって来た。

我社の社訓とする所であり、常に時、人、物の変化に対応してタイミングを合わせて行きたいと思っております。

本年の干支の辰年は、皆様よくご存知の通り、龍は雲に乗って天に立ち昇るといふ意味があり、古来より勢い盛んで縁起の良い年と言われております。この縁起の良い年に我社も一層発展して行きたいと思っております。

初 荷 初 市 風 景

金沢問屋センター繊維同業会（越井清太郎会長）吉例の初市が1月7、8日の両日、各社会場にて行われ、今年好天に恵まれて、客足も上々だったようである。

呉服については、ここ数年の傾向として、中振、留袖、訪問着、袋帯等のフォーマル商品に相変わらず根強い人気があり、色彩は濃度の濃い色を用いた大正ロマン調から、従来の色調に戻りつつある。市況には明るさが見えつつあり、今後の企画、ノウハウ次第でまだまだ期待できそうである。

婦人服に目を向けると、この春はエレガントなスポーツ感覚を基調にソフトなボディコンシャスで赤、緑、黄、青等が中心となり、セーター、ブラウスではピンク、クリーム、ラベンダー、青等のカラフルな色に白、紺、黒、茶をベースカラーとして、素材は麻、レーヨン、シルクアクリル、レーヨンアクリル等の光沢を加えたダルトイプが中心でシンプルな編地の、ボディコンシャスを意識したニューシルエットが中心となり、女っぽさ、可愛さを強調した先染めプリント、天竺カットワーク刺繍、^{スワトウ}仙頭ブラウス等に動きが見られそうである。

又、以前はあちこちで見られた初荷風景も今ではあまり見られなくなり、電材業界に名残をとどめる程度ではあるが、はっぴ姿の社員たちは威勢よく得意先へと向かっていた。



新組合員紹介

◆昭和62年以降に加入された組合員の方々はこちらです。

山之内株式会社

加入年月日：昭和62年4月8日
住 所：金沢市問屋町1丁目25番地
電 話：38-6540
代 表 者：社長 山内高嘉
取扱品目：食品調味料及副材料の卸

丸六商事株式会社

加入年月日：昭和62年4月8日
住 所：金沢市問屋町2丁目30番地
電 話：37-0601
代 表 者：社長 篠原 勉
取扱品目：呉服・繊維卸

株式会社 山彦商店

加入年月日：昭和62年7月7日
住 所：金沢市問屋町2丁目55番地
電 話：37-5205
代 表 者：社長 山崎康吉
取扱品目：繊維雑貨卸